



本会議の様子



新井 豪 (自民)



吉良英敏 (自民)



内沼博史 (自民)



辻 浩司 (民主フォーラム)



石渡 豊 (公明)



石川誠司 (自民)

# 一般質問

2月28日、3月1日の一般質問では、6人の議員が質疑・質問を行いました。

## その他の主な質疑・質問

代表質問から

- 知事の現任期の総括と今後について
- 自殺防止対策について
- みたび「コロナ」の意味を問う
- 財政について ポストコロナ対策と財源確保

一般質問から

- ヤングケアラー支援について
- 「スポーツ科学拠点施設と上尾運動公園再整備」について
- 就労困難な人とそうでない人が共に働く埼玉県 ソーシャルファーム条例制定など社会的起業を支えるしくみについて
- アフターコロナの観光振興 宿泊型の観光について
- とねっとの終了と県民データの取扱いについて
- 県庁舎再整備と県庁機能の在り方 静岡県による「次世代県庁」の検討について

## 用語解説

### ※1 ゼロゼロ融資

当初3年間無利子・無担保融資のこと。新型コロナウイルス感染症の影響により業績が悪化した中小企業や個人事業主を対象とし、金融機関に利子補給(金融機関から融資を受けた借入者の利子負担を軽減するため、行政機関や自治体が一定の要件のもと利子相当額分を補填すること)を行うことによって実質無利子・無担保で融資する制度。

### ※2 制度融資

中小企業のための資金繰り支援策のこと。新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業も対象としている。  
▶ 制度の詳細は右記から



### ※3 アグリテック・フードテック

アグリテックとは「Agriculture(農業)」と「Technology(技術)」を組み合わせた造語で、AI、ビッグデータ、IoTなどICT技術を用いて農業のIT化を促進するための技術のこと。フードテックとは「Food(食)」と「Technology(技術)」を組み合わせた造語で、食糧不足などの食の問題の解決を図る革新的な技術のこと。

### ※4 埼玉県医師育成奨学金制度

「将来医師として埼玉県の地域医療に貢献したい」と考えている「埼玉県出身の医学生」や「指定大学の医学生」に奨学金を貸与する制度のこと。  
▶ 制度の詳細は右記から



### ※5 埼玉県総合医局機構

医師確保・派遣、医師への支援を実施していくため立ち上げた機関。国の地域医療支援センターの制度も活用し、医師の診療科偏在や地域偏在の解消に取り組むコントロールタワーとして、従来の取り組みで確保した医師を医師の不足する病院に紹介することなどにより、医師の確保や県内全域の医療水準の向上を目指す。

### ※6 カーボンニュートラル

人為的な温室効果ガスの排出量から植林や森林管理などによる吸収量を差し引いて、収支がゼロになる状態のこと。

### ※7 サーキュラーエコノミー

循環型経済(サーキュラーエコノミー)とは、従来の生産・消費の過程で廃棄されてきた製品や原材料などを新たな「資源」としてとらえ、廃棄物を出すことなく資源を循環させる経済の仕組みのこと。

### ※8 フレイル

加齢に伴い心身の活力が低下し、要介護状態となるリスクが高くなった状態のこと。

### ※9 コミュニティ・スクール

学校運営協議会制度のこと。学校と保護者や地域の方々が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組み。

### ※10 盲ろう者

目(視覚)と耳(聴覚)の両方に障害を併せ持つ人のこと。



**A** 介護職の社会的評価向上は重要。幅広い知識や技術を持つ専門性を動画でPRするなど取り組みを進め、介護報酬の見直しも国に強く要望する。また、フレイルや要介護状態を防ぐには早期かつ体系的な取り組みが重要。介護予防政策の体系化を計画の中に位置付けて進めていく。

**Q** 本県では令和5年度に第9期高齢者支援計画(計画期間令和6〜9年度)策定に着手する。そこで、今後大幅な不足が見込まれる介護人材確保のため「介護職の社会的評価の向上」や「フレイル(※8)予防を含んだ「介護予防政策の体系化」を取り入れることを提言したい。

## 福祉

代表質問

### 第9期埼玉県高齢者支援計画の策定について

代表質問

### 孤独・孤立対策について

**Q** 孤独・孤立は人生のあらゆる場面で誰にでも起こり得るもの。社会全体で対応しなければならぬ。本県が進める地域包括ケアシステムの構築やコミュニティ・スクールの(※9)などに期待したい。孤独・孤立対策を進める上での基本認識と今後の取り組みの方向性について伺う。

**A** 孤独・孤立問題は社会全体の課題としてさまざまな主体が連携して対応することが重要と認識し、今年2月官民連携プラットフォームを立ち上げた。今後は、支援を求めやすい社会に向けSNSなどでも広く発信し、地域に居場所や交流の場を増やし支え合う取り組みを進めていく。

一般質問

### 「盲ろう者」(※10)の自立と社会参加支援について

**Q** 視覚と聴覚の両方に障害を持つ「盲ろう者」の自立と社会参加に向け、通訳・介助員派遣事業は必要な支援と考える。この事業を受託する団体からの要望にはどのようなものがあるのか。また、この障害を関係行政機関や県民に周知する必要があると考えるが見解を伺う。

**A** 受託団体からは、障害の特性を考慮した生活訓練やパソコン操作などの技能訓練、情報交換の場の設置、県や市町村職員の研修実施などの要望がある。県のホームページなどさまざまな広報媒体で周知を図り、関係機関への説明会を開催するなど理解促進と支援充実に取り組む。

## 人権

一般質問

### ヘイトスピーチやヘイトクライムを許さない埼玉県について

**Q** 人種や民族などを理由に差別的発言や暴力を行うヘイトスピーチやヘイトクライムが近年増加しており、暴行や脅迫事件が起きている。これらを許さない埼玉県の姿勢を明確にし、被害の発生を抑止するための呼びかけを積極的に行うべきと考えるが、所見を伺う。

**A** ヘイトスピーチやヘイトクライムは重大な人権問題であり、差別意識を生む不当な言動は地域社会から徹底して排除されるべきものと考えている。こうした考えなどをホームページやSNSなどを通じて発信をし、日本人と外国人が共に地域で支え合える共生社会の構築を目指していく。

## 意見書・決議

意見書6件を全会一致で可決し、国に提出しました。また、決議1件を全会一致で可決しました。

- 保育士の配置基準の見直し及び人材確保等を求める意見書
- 再生可能エネルギー特別措置法に基づく認定失効制度の系統連系工事着工申込みの見直しを求める意見書
- 緊急避妊薬に対するアクセス改善を求める意見書
- 带状疱疹ワクチンの定期接種化及び助成制度の創設を求める意見書
- 知的障害者に関する法律の整備と全国一律の施策展開を求める意見書
- 地域のグリーントランスフォーメーション(GX)の促進を求める意見書

- 北朝鮮による弾道ミサイルの発射に重ねて断固抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議

## 請願

採択された請願は次の通りです。

- 学校給食及び昼食における「心身の健康の増進と豊かな人間形成」の実現を求める請願
- マスク着用の有無による差別・偏見等防止の啓発及び換気システム導入等に関する請願



ぜひ、ご覧ください!!



県議会マスコット「ポッポ」

本会議の様子はインターネット中継でご覧になれます。左の二次元コードからアクセスできます。

